

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
草津市	老上・矢倉地区 (野路町、南笠、新浜、矢橋、 橋岡、川ノ下、矢倉)	令和3年2月17日	-

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	167.9	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	164.2	ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	72.5	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	19.7	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	44.4	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6.8	ha
(備考)		

2 対象地区の課題

他の地区と比べて市街化区域の割合が多く、都市化による農地の減少、農業者の高齢化、後継者不足により農業離れが進んでおり、耕作放棄地が発生しやすい。また、中心経営体が少なく、未整備田の割合が多いため、中心経営体への貸付が困難になっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

老上・矢倉地区の農地利用は、農用地区域を優先的に集積・集約化を進める必要がある。中心経営体である8経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状(R1)		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	A	水稻・麦・大豆・野菜	0.3 ha	水稻・麦・大豆・野菜	0.3 ha	矢倉
認農	B	施設野菜	0.1 ha	施設野菜	0.1 ha	笠山
認農	C	水稻	5.7 ha	水稻	7.4 ha	矢倉、野路、矢橋
認農	D	水稻・麦・大豆・養鶏	4.8 ha	水稻・麦・大豆・養鶏	6.1 ha	野路、新浜、矢橋、南草津

属性	農業者 (氏名・名称)	現状(R1)		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	E	水稻	1.4 ha	水稻	2.0 ha	野路、新浜、矢橋
認農法	F	水稻・施設 野菜・露地 野菜	9.3 ha	水稻・施設 野菜・露地 野菜	12.4 ha	南笠、矢橋
認農	G	水稻・麦・ 大豆	0.3 ha	水稻・麦・ 大豆	0.3 ha	矢倉
認農	H	水稻・施設 野菜・露地 野菜・花卉	0.2 ha	水稻・施設 野菜・露地 野菜・花卉	0.3 ha	南笠
計	8人		22.1 ha		28.9 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、65筆、52,140㎡となっている。(R1実施アンケート:公表可のみ)</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針 農用地区域については、将来の農地の集積・集約化を目指し、農地所有者に対し機構の活用を推進し、中心経営体への集積を進めていく。</p>
<p>耕作放棄地の発生防止・解消への取組方針 中心経営体への集積・集約が困難な地域については、耕作放棄地の発生防止・解消のため、農業委員、農地利用最適化推進委員による土地所有者に対する相談活動等に取り組む。</p>
<p>高収益作物の取組方針 米、麦等の土地利用型作物以外に、野菜等の高収益作物の作付を推進する。</p>
<p>未整備田の取扱い方針 未整備田については、企業の参入等により活用を図る。</p>

(参考) 農地の貸付け等の意向(R1実施アンケート)

農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
区分別合計	27,992	8,002	16,146
全体合計	52,140		